

萌芽枝を使うと、ケヤキもさし木ができます

1 試験の目的

広葉樹の中でケヤキは材価が高く、とくに杢模様が出るものなどは市場で高価に取り引きされている。この性質をもつ苗木を生産するためには、さし木を行う必要がある。そこで、さし木苗の発根率の向上を目的に試験を行った。

2 試験方法と結果

圃場内で育成している 3 本のケヤキ(9 年生)に台切り(断幹処理)を行い、発生した萌芽枝でさし木を試みた。台切りは平成 14 年 5 月 1 日に行い、さし付けは平成 14 年 7 月 26 日に行った。発根促進はオキシベロン粉剤 1.0%を施用した。育苗は噴霧施設内で行い、噴霧散水は朝から夕方までの時間帯に 1 時間に 1 回の割合で 1 回当たり 3 分間行った。

その結果、283 本のさし付けを行ったうち、273 本に発根が見られた。

3 成果と今後の問題点

萌芽枝をさし木材料に使うことにより発根率を向上させることができた。今後、この方法を実際の優良木(つぎ木などで育成したケヤキ)に適用できるかを確認する予定である。

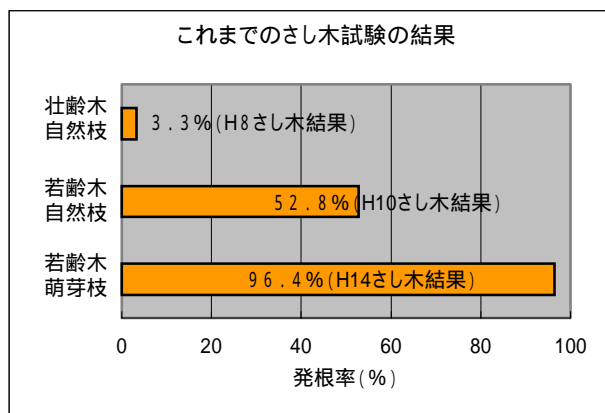


台切りにより発生した萌芽枝

H14 萌芽枝を用いたさし木試験

供試木	台切り日	萌芽枝 さし付日	発根本数 / さし付け本数		発根率 (%)
			発根本数	さし付け本数	
No.1	H14.5.1	H14.7.26	109	111	98.1
No.2	"	H14.7.27	89	92	96.7
No.3	"	H14.7.27	75	80	93.7

No. 1、No. 2、No. 3 は 1 本の母樹から採種して育成した、9 年生の実生苗 3 本。



発根したケヤキさし木苗

(担当 育種緑化部 専門研究員 神山博希)

連絡先

028 - 3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560 - 11 TEL019 - 697 - 1536
 岩手県林業技術センター FAX019 - 697 - 1410
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>